

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

放射線+Low-dose 5FU+CDDP[6mg/m<sup>2</sup>]療法  
 <<初日に 5 日分調製>>  
 1 コース予定  
 疾患名 進行食道癌

主治医 指導医 HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

## スケジュール

			day1 ~ day5	day8 ~ day12
フルオロウラシル	持続	1750 mg/ m <sup>2</sup> /5 日 【350 mg/ m <sup>2</sup> /日】	↓..... →	↓..... →
シスプラチン		6mg/m <sup>2</sup>	↓↓↓↓↓	↓↓↓↓↓
放射線			↓↓↓↓↓	↓↓↓↓↓
			day29 ~ day33	day36 ~ day40
フルオロウラシル	持続	1750 mg/ m <sup>2</sup> /5 日 【350 mg/ m <sup>2</sup> /日】	↓..... →	↓..... →
シスプラチン		6mg/m <sup>2</sup>	↓↓↓↓↓	↓↓↓↓↓
放射線			↓↓↓↓↓	↓↓↓↓↓

【注意】 \* Day15~19 および 22~26 は放射線のみ実施する

- \* シスプラチンは遮光のこと
- \* シスプラチンはポンプを使用しないこと。
- \* シスプラチンの投与は、可能な限り放射線照射の直前に終了する
- \* 採血データにより Day8~12 の投与量の変更あり
- \* 投与量の変更はオーダをもって確認する
- \* 患者の状態に合わせてデキサメタゾンの投与を考慮する

☆通常量より減量する際の理由☆

## (レジメン)

day 1, 8, 29, 36 のみ

- ① メイン 生食 500mL で血管確保 維持( 20 mL/時間 )
- ② 側管 Day 1 10:00- Day 6 10:00 フルオロウラシル + 生食 1120 mL  
側管より輸液ポンプにて点滴静注 約 120 時間(10 mL/時間)
- ③ 側管 パロノセトロン 0.75mg + 生食 20 mL 側管静注
- ④ 側管 シスプラチン + 生食 100mL 点滴静注 60 分 (100mL/時間)

福岡大学化学療法プロトコール審査委員会承認 (平成 23 年 2 月 25 日) A0608b

day 2～5、9～12、30～33、37～40

① メイン 生食 500mL

維持( 20 mL/時間 )

② 側管 シスプラチン

+ 生食 100mL

点滴静注 60 分 (100mL/時間)

	1 コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
5FU 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					
	1 コース				
	day 8	day 9	day 10	day 11	day 12
月日	/	/	/	/	/
5FU 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					
	1 コース				
	day 29	day 30	day 31	day 32	day 33
月日	/	/	/	/	/
5FU 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					
	1 コース				
	day 36	day 37	day 38	day 39	day 40
月日	/	/	/	/	/
5FU 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					

